

燦々

SANSAN
光り輝く



特集

二人三脚で花卉栽培 過去最高の出来に

厚真町軽舞地区の丹羽さんが栽培しているマム(洋風菊)

JAとまこまい広域
燦々光り輝く
No.報誌
229



編集・発行

〒059-1693
JAとまこまい広域本所
TEL 0145-272241
北海道厚真町錦町10番地2
FAX 0145-2713941

令和3年9月10日
ホームページアドレス
http://www.ja-tomakomai.co.jp
mailto:info@ja-tomakomai.co.jp

印刷 株式会社 須田製版

令和3年10月からの営業時間一覧表

		本所 厚真支所	上厚真 事業所	早来 支所	追分 支所	穂別 支所	白老 支所	苫小牧 支所	ホクレンショップ 苫小牧店・沼ノ端店	生乳 検査場	死亡牛 処理
一般業務	平日	9:00~17:00	—	9:00~17:00	9:00~17:00	9:00~17:00	8:45~17:00 (12:30~13:30休業)	8:45~17:00	—	持込 12:00まで	9:00~17:00
	土曜日 (1~3月休)	9:00~12:00	—	9:00~12:00	9:00~12:00	9:00~12:00	休業 (10月のみ8:45~12:00)	8:45~12:00	—	持込 10:00まで	9:00~12:00
金融業務 (平日のみ営業)	平日	9:00~16:00	—	9:00~16:00	9:00~16:00	9:00~16:00	9:00~16:00 (12:30~13:30休業)	9:00~16:00	—	—	—
A T M (祝日は休業)	平日	8:45~18:00	8:45~18:00	8:45~18:00	8:45~18:00	8:45~18:00	—	8:45~18:00	9:00~21:00	—	—
	土曜日	9:00~13:00	9:00~13:00	9:00~13:00	9:00~13:00	9:00~13:00	—	9:00~13:00	9:00~17:00	—	—
	日曜日	休業	休業	休業	休業	休業	—	休業	9:00~17:00	—	—
生産資材	平日	9:00~17:00	9:00~17:00	9:00~17:00	9:00~17:00	9:00~17:00	8:45~17:00 (12:30~13:30休業)	—	セブンイレブン・ ローソンATMの 取扱時間	—	—
	土曜日 (1~3月休)	9:00~12:00	9:00~12:00	9:00~12:00	9:00~12:00	9:00~12:00	休業 (10月のみ8:45~12:00)	—	—	—	—
農機車両 センター	平日	9:00~17:00	—	—	—	9:00~17:00	—	—	平日8:00~22:00 土曜8:00~21:00 日曜8:00~21:00 祝日8:00~21:00	—	—
	土曜日 (1~3月休)	9:00~12:00	—	—	—	9:00~12:00	—	—	—	—	—
給油所	平日	8:00~18:00	8:00~18:00	8:00~18:00	8:00~18:00	8:00~18:00	—	—	手数料110円/回 の取扱時間	—	—
	土曜日	8:00~17:30	8:00~17:00	8:00~13:00	8:00~13:00	8:00~17:30	—	—	平日8:45~18:00 土曜9:00~14:00	—	—
	祝日	8:00~17:00	8:00~17:00	8:00~17:00	8:00~17:00	8:00~17:00	—	—	上記取扱時間以外 及び日曜・祝日の 手数料220円/回	—	—
	日曜日	休業	休業	休業	休業	休業	—	—	—	—	—
Aコープ (1~3月は祝日休業)	平日	9:00~18:00	(Aコープ折坂商店) 7:00~18:30	—	—	9:30~18:00	—	—	—	—	—
	土曜日	9:00~18:00	7:00~18:30	—	—	9:30~17:00	—	—	—	—	—
	祝日	9:00~17:00	7:00~18:30	—	—	9:30~17:00	—	—	—	—	—
	日曜日	休業	8:00~16:00	—	—	休業	—	—	—	—	—

※1月~3月の毎週土曜日は本支所の金融、共済、生産資材、農機具センター、一般事務の営業を休止とします。(給油所、Aコープ、ATMは営業)
※白老支所の昼休業は11月1日からとなります。 ※給油所は11月1日から営業時間が変更となります。
※上厚真生産資材の11月1日~3月14日迄は完全閉店とします。(3月15日~は土曜休業)
※12月4日から苫小牧支所ATM(苫小牧市大成町)は閉鎖となります。 12月6日よりホクレンショップしらかば店のATMがオープンします。

20周年記念 圃場等立入禁止看板(ステッカー)設置助成事業について

この度、JAとまこまい広域の合併20周年を記念し、土壌菌の流入や家畜伝染病の感染を防ぐための各組合員の圃場及び農業施設等への立ち入りを制限する看板(ステッカー)設置に次のとおり助成をいたします。

1. 看板(ステッカー)デザイン

- | | | |
|---------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| ・大きさ
500mm×420mm | ・材質
塩ビラミネート(耐候・耐水)
裏シール | ・価格(助成後)
500円/枚(税込) |
|---------------------|-------------------------------|-------------------------------|

2. 助成対象

- (1) 正組合員(個人・法人)
- (2) 農協に継続的な出荷実績のある准組合員
- (3) 農協が事務を受託する外郭団体(生産部会)

3. 助成内容

- ・購入費用の50%を助成いたします(表示単価は助成後の単価となっています)
- ・助成上限は同一経営体で10枚までとなります。

4. 申込み方法

- ・取りまとめ書に必要事項を記入の上、各支所へ申込み下さい。





二人三脚で花卉栽培 過去最高の出来に



丹精込めて栽培した花卉と一緒に(左)康弘さんと(右)久美子さん



▲収穫の様子



▲夫婦二人三脚での選果作業の様子

燦々

SANSAN
光り輝く

No.229 CONTENTS

01 特集 二人三脚で花卉栽培

過去最高の出来に

03 カメラレポート

07 広域花卉(苫小牧・追分・厚真)

お盆需要出荷最盛期

新人職員による農家研修実施

農業の大変さを実感

08 みどりの食料システム戦略

09 期待の農力 谷口雅泰さん

10 理事会報告

11 ワンポイント営農情報

12 あぐり講座

13 JAからのお知らせ

14 JAグループ通信

裏表紙 令和3年10月からの営業時間一覧表

20周年記念 圃場等立入禁止看板(ステッカー)

設置助成事業について



特集で紹介した厚真町軽舞地区の丹羽康弘さんが栽培するマム(洋風菊)。需要期のお盆へ向けて栽培しており、出荷前に各品種をブーケにして撮影。



し自分の手を離れるまで管理徹底し、消費者の皆さんに高品質なマムを届けたい」と話す。

高品質の花弁栽培を手掛ける康弘さんも、労力がかかるため取り壊した4棟は立て直しはせず、すでに新規就農者へ引き渡された。また残りの2棟も資材などの更新時期と重なり今年で最後の作付けとなる予定だ。康弘さんは「最後の年に、高品質な花卉を栽培することができた」と満面の笑顔で話してくれた。最後に、残る厚真町花卉部会員へ「ようやく市場から信用をもらえるようになり、全国から注文が届くようになってきたので、桐木洋光部会長の下に結束し、「あつまの花」というブランドに誇りを持ってこれからも頑張ってもらいたい」とエールを送った。残すは秋の彼岸需要の1棟のみとなり、33年間の長きにわたる花卉栽培の幕が閉じようとしている。

JAとまこまい広域厚真町花卉部会員の丹羽康弘さん(75歳)の花弁ハウスでは、お盆需要に向けた花卉収穫が7月下旬から最盛期を迎えている。康弘さんは厚真町軽舞地区で平成元年から花卉栽培をスタートさせ、震災などの苦勞を乗り越え今年で33年目を迎える。

仲の良い生産者から花卉栽培を進められ、「最初は30坪ほどのハウスで菊の栽培からスタートした」と話す康弘さん。また「栽培当初は、中々栽培のコツを掴むことが出来ないことや、効率的な作業の方法を試行錯誤の最中だったことに加え、子供たちの学校への送り迎えも重なり寝ずに作業したこともあった」と妻の久美子さん(72歳)と当時を懐かしそに振り返り話してくれた。

平成30年9月6日に発生した北海道胆振東部地震では、秋の彼岸需要に向けて最盛期が始まる一歩手前これからという時の発生で輸送が麻痺状態となったことから「9割ほどが収穫できず廃棄したことを思い出す」と話してくれた。翌年の栽培では生育不良が散見され調査したところ、震災の影響で耕盤層に亀裂が入り、土壌中の水分保有量のバツつきと判明。普及センター等の協力の下、土壌改良を推し進め回復を遂げ今年を迎えていた。また震災の影響で破損した導水管の修繕のため、ハウス6棟の内4棟が取り壊されることになった。今年はお盆需要と秋の彼岸需要に向けてそれぞれ1棟ずつマム(洋風菊)の作付けがされている。康弘さんは「今年は病害虫の発生も抑えることができ、生育も順調に進み高品質のマムが栽培できた」と自信を覗かせる。また「出荷

広域

協同組合の存在意義理解浸透図る

総代及び女性組合員対象に研修会開催

J Aとまこまい広域は8月18日、厚真本所及び穂別支所でブロック別総代・女性組合員研修会をそれぞれ開催し、総勢19名が参加した。

開催に当たり堀弘幸専務は「地域の多様な意見を農協運営に反映されるために、女性の方々の感覚というのは不可欠な時代となっています。今回、初めての試みとしてこのような研修会を企画しました」と挨拶したほか、「最近よく耳にするSDGsは、組合員をはじめ農協においても食料と農業分野等を通して目標達成へ向けた重要な取り組みです。今何



▲堀専務の開会挨拶



▲中央会長谷川次長による研修の様子

が求められているのかを今回の研修会を通じて気づきがあればと考えています」と話した。

この研修会は、「総代」や「総代会」は何か等、協同組合の存在意義について理解浸透を図る目的のほか、研修会を通じてJ Aの経済的な効果や農業経営の中心を担っている女性農業者の意見を頂く場として開催された。

講師に、J A北海道中央会札幌支所の長谷川祥司次長と五十嵐陽職員を招き、総代の役割や、今年開催されるJ A北海道大会の概要について説明され研修会は終了した。

広域

生鮮食品など従来から商品拡充

移動購買車が厚真店より出発開始

J Aとまこまい広域は8月3日、Aコープ穂別店の令和4年1月の閉店に伴い、これまで穂別店で行われていた移動購買車の商品補充等の業務が厚真店へ移行することを受け、出発式をAコープ厚真店前で開催した。

冒頭、宮田組合長より「より良い品物を組合員に届けてもらいたい」とエールが送られた。また、運転手を務める職員へ元気を出して頑張つて欲しいとの思いを込めて栄養ドリンクが渡され、担当職員は「事故無く、組合員の皆さんに喜んでもらえるように頑張ります」と話し出



▲購買車のデザインは穂別地区の小学校の生徒からの応募採用(購買車はH26年導入)



▲購買車に陳列された商品

発した。この移動購買車による組合員への販売は、旧穂別農協時代の昭和40年代頃から始まり50年以上穂別地区の組合員に利用された歴史がある。一時はこの購買車の存続も危ぶまれたが、穂別地区の組合員による存続への強い要望により、行政の支援を受けることで現在も組合員へ商品が届けられている。移動購買車での販売は週5日間稼働とし、日ごとに穂別地区の組合員のお宅へ訪問販売しており、取り扱いには常時300品を基本に組合員の意向を聞き取りながら反映している。

広域

秋まき小麦の適期刈り取り調査実施

天候良好で刈り取り順調に進む

J Aとまこまい広域は7月20日、厚真地区の秋まき小麦適期刈り取り調査を実施した。生産者で構成される自主検定員とJ A職員らが同地区にある全圃場の調査を行った。その他の地区では、施設に各自サンプルを持ち込みJ A職員による適期刈り取り時期が判断された。

今回の刈り取り調査では、数名のグループに分かれそれぞれ各圃場を回り麦の登熟具合を確認。7月下旬から8月上旬にかけて刈り取り適期を迎える結果となった。

広域管内では穂別地区の森本和明さんを皮切りに刈り取りが始まった。また管内では早来・追分・厚真にある3つの施設で受入を行っている。その中でも1番



▲厚真町朝日地区での刈り取りの様子

の受入量を誇る厚真地区の「たんとうまいステーション」では7月25日〜27日に受入のピークを迎え、1日の受入が400t〜450t(受入重量)にのぼった。また秋まき小麦の収穫終盤を迎える8月上旬には香まき小麦の収穫が始まりお盆前後まで各施設で受入される。

管内での秋まき小麦は約770haが作付けされ、約3,900t(乾燥推定重量)の収穫量を見込んでいる。



▲収穫を迎える麦

白老

白老牛と旬の広域産農産物が店頭に並ぶ

「白老牛農産物フェア」開催

J Aとまこまい広域白老支所は8月7日に令和3年度夏白老牛農産物フェアを開催した。

販売した牛肉は組合員の吉田隆三さんが生産し、白老牛改良センターで肥育された黒毛和牛で、等級はA5、BMSは11番だった。

開始から30分で人気のヒレステーキが完売するなど盛況で、吉田さんは「毎年J Aで開催しているフェアで、お客さんがうれしそうに買っていくと自分もうれしい。今年はコロナウィルスの影響で遠出せず、家でバーベキューを楽



▲牛肉コーナー販売の様子。生産者の吉田さん(左)松田職員(中央)



▲農産物コーナー販売の様子

しむ家庭が多いと聞くので、この機会にぜひ白老牛を味わっていただきたい」と話してくれた。農産物コーナーでは旬のメロンなども並び、こちらも毎年楽しみにしていただいているお客様で賑わいをみせた。来場した女性は「昨年の夏のフェアはコロナウィルスの関係から中止となり残念だったので、今年は無事開催されて良かった。メロンの出来は今年もいいと聞いているので今から食べるのが楽しみ」と話してくれた。開催中に小雨がぱらつくあいにくの天気となったが、白老牛や新鮮な農産物を買求める、多くのお客様が来場し、皆満足した表情で会場を後にした。

早来

加工スイートコーン収穫

平年並みの収量見込む

8月10日、早来支所管内では例年より1週間ほど早く加工用スイートコーンの収穫が始まった。スイートコーンは気温の上昇とともに甘味が落ちるため、収穫は早朝から行われており、同管内では約189haの加工スイートコーンが作付されている。収穫後は速やかに工場に運ばれたのち、冷凍食品や缶詰となって食卓にならぶ。今年の作柄について担当者は、「播種から順調であったが7月中旬から



▲収穫機によって刈取



▲収穫されたコーンは搬送車に投入

降雨が全くなかったので例年より俵（美）が細い傾向かもしれないが、平年並みの収量は見込めそう」と話す。
スイートコーンは根を深くまで伸ばし、茎や葉まで栄養豊富なことから収穫後、畑にすきこまれ緑肥効果と土質改良に一役買っことから、早来地区の輪作体系の中では、小麦やてん菜の前作あるいは、豆類や小麦の後作に組み入れられることが多い。

穂別

第1回穂別地区廃プラ集積事業

適正な処理へ向けて

JAとまこまい広域穂別支所では8月10日・11日の両日、穂別支所旧除雪センター前にて穂別農業用廃プラスチック適正処理対策協議会（藤岡建人会長）は農業用ビニール・農業用ポリ（肥料袋、フレコンバック、苗箱等）の廃プラスチックの一斉回収を行った。穂別地区では年3回一斉回収を実施しており、今回はその1回目となる。
生産者はトラクに廃プラスチックを積んで持ち込み、作業委託している青年部穂別支部の部員らが荷下ろしした後、計量する流れで行われている。
両日で回収された廃プラスチックは約34tとなり、前年同期の一斉回収と同程度の排出量となった。同協議会では9月上旬に2回目の回収、10月下旬に3回



▲廃プラ回収の様子

厚真

規模縮小し軽舞熱送り開催

五穀豊穣祈願する

厚真町軽舞地区で7月30日、厚真町指定無形民俗文化財である「軽舞熱送り」が開催された。毎年、厚真町軽舞地区では7月下旬に太鼓の音を雷に見立て病害虫を追い払うことで上地区から下地区にかけて住宅前などを巡り五穀豊穣を祈願している。
1902（明治35）年、厚真町軽舞地区では水稲がいもち病に罹病し、大きな被害が出たため地区に多く入植していた富山県出身者が故郷の豊作を祈願する「熱送り」が伝承された。熱送りは江戸時代から続いている農家による行事で、五穀豊穣を祈願したのが起源とされている。



▲最初に行われる神社での奉納太鼓



▲神社での奉納太鼓



▲厚真町軽舞地区開拓100年碑の前で奉納太鼓

新型コロナウイルス感染症拡大を考慮し人員を例年の約3分の1へ縮小し、巡る力所を16力所から9力所へ減らすなどして対策を講じて執り行われた。本来であれば6月第3週日曜日において、厚真町で例年開催される「あつま田舎まつり」の中でも披露されているが、今年は北海道においても新型コロナウイルス感染症が拡大していることを受け延期という形となっており、開催に関しては未定となっている。

穂別

とまこまい広域産南瓜の出荷開始

JAとまこまい広域産南瓜生産部会

8月6日より、むかわ町穂別地区の南瓜出荷が始まった。
JAとまこまい広域産南瓜生産部会（清瀬利一郎会長）では、えびすを主軸に味平、恋するマロン等の品種を作付しており、関西・中国・四国地方を中心に出荷される。今年度の穂別地区の作付面積は約294haと過去最高の作付面積となっている。
清瀬部会長は「6月の天候不順と7月の高温の影響で、例年と比べ収量は少ないものの、5〜7玉サイズ中心に収穫す



▲出荷を待つ南瓜



▲受入れの様子

ることができている。広域産の南瓜をたくさんの人に味わってもらいたい」と話す。

また、3日には目慣らし会を穂別支所選果場にて実施し、JA職員から収穫・選別・出荷の注意点について説明するとともに、見本の南瓜を見ながら規格などについて生産者と確認した。
当部会では今年度取扱数量4千t、販売高4億円を目標に9月上・中旬をピークに10月中旬頃までリレー出荷が続く。

広域花卉(苫小牧・追分・厚真)お盆需要出荷最盛期



▲ウトナイ道の駅などに出荷するダリアの選果の様子(苫小牧の花)



▲収穫を待つトルコキキョウ(おいわけの花)



▲収穫されるマム(あつまの花)

JAとまこまい広域は8月に入り、お盆需要に向けた花卉収穫の最盛期を迎えた。広域管内には旧農協時代から続く、苫小牧花卉生産組合(苫小牧の花)、追分花卉生産組合(おいわけの花)、厚真町花卉部会(あつまの花)花卉生産組合の3団体が現在もそれぞれ活動しており、8月のお盆需要と9月の秋彼岸需要をメインに作付けしている。

苫小牧の花は、主に小菊やグラジオラス、ソリダコなど様々な品目が露地とハウスによって栽培され、5月中旬から11月中旬にかけて札幌や旭川など道内へ出荷される。斉藤謙吉組合長は、「7月の高温と干ばつの影響で出荷が前倒しされたことに加え、特に露地栽培では高温障害が発生し開花が抑制され、お盆需要に出荷数量を確保できない。天候には敵わない」と話す。

おいわけの花はハウス栽培でトルコキキョウやカスミ草、鉄砲ユリが5月中旬から11月中旬にかけて札幌へ出荷される。水橋勉組合長は「品質を落とさないために、自分たちのできる範囲の面積で作付けしているので、多くのお客さんに楽しんでもらいたい」と話した。

最後に、あつまの花はカーネーションをはじめマム(洋風菊)、シネンシス系のデルフィニウムを中心に作付けされ、通年を通して道内外へ出荷される。桐木洋光部会長は「この暑さの影響で難しい管理となっているが、1本1本丁寧に管理し高品質な花卉をお客さんへ提供していきたい」と話した。団体それぞれ異なる品目が作付けされ、道内外の市場を通して消費者に届けられる。

新人職員による農家研修実施 農業の大変さを実感

JAとまこまい広域では、8月5日～6日にかけて共済部共済課の加我遥香さん(1年目)と企画管理部管理課の中塚実花さん(2年目)が農家研修を実施した。

農家研修とは、採用され勤続3年目未満の職員を対象に2度行われ、自分が勤めている職場がどのような役割をもっているか農作業体験を通して知ること、農業の理解促進を図る事に加え社会経験を積むこと、組合員との交流の場となることを目的に実施されている。

今回お世話になったのは、花卉栽培している厚真町軽舞地区の大捕雅寿さん。大捕さんはカーネーションを作付けしており、現在お盆需要に向けた出荷の最盛期を迎えるため、出荷作業のお手伝いとして研修が行われた。カーネーションは収穫後、余分な下の葉を落とす下葉処理作業が行われ、その作業が2人に割り当てられた。

農家研修を体験した2人の職員は「農作業というものは今まで体験したことがなく、農家の仕事の大変さを実感した。また、このような作業の末に農畜産物が販売され、その手数料が私たちの給料となっていることを改めて実感することができた」と話してくれた。



▲下葉処理を行う職員(左加我職員、右中塚職員)



みどりの食料システム戦略



みどりの食料システム戦略とは

我が国の食料・農林水産業は、大規模自然災害・地球温暖化、生産者の減少等の生産基盤の脆弱化・地域コミュニティの衰退、新型コロナを契機とした生産・消費の変化などの政策課題に直面しており、将来にわたって食料の安定供給を図るためには、災害や温暖化に強く、生産者の減少やポストコロナも見据えた農林水産行政を推進していく必要があります。

このような中、健康な食生活や持続的な生産・消費の活発化やESG投資市場の拡大に加え、諸外国でも環境や健康に関する戦略を策定するなどの動きが見られます。今後、このようなSDGsや環境を重視する国内外の動きが加速していくと見込まれる中、我が国の食料・農林水産業においてもこれらに的確に対応し、持続可能な食料システムを構築することが急務となっています。このため、農林水産省では、令和3年5月に食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現する「みどりの食料システム戦略」を策定しました。



詳しくは
こちら

みどりの食料システム戦略

検索

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/index.html>



農林水産省北海道農政事務所企画調整室 011-330-8801
(問合せメールフォームURL) <https://www.contactus.maff.go.jp/j/hokkaido/form/4762.html>
農林水産省大臣官房環境バイオマス政策課 03-3502-8056

農林水産省

理事会報告

令和3年7月19日(月)に総合営農センターで第7回理事会が開催され、次の事項について報告、協議、承認がされました。



- | | |
|-------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 一般報告と当面する諸行事について | 9. 令和3年度米・大豆の出荷契約と令和4年度小麦の播種前契約について |
| 2. 5月末・6月末財務報告について | 10. 不祥事再発防止策の進捗状況について |
| 3. 7月1日、現在の農作物生育状況報告について | 11. 地域振興検討委員会の状況報告について |
| 4. 組合員の異動について | 12. 6月4日 暴風雨被害の状況報告について |
| 5. 固定資産の取得・処分について | 13. 消費拡大商品(小豆・てん菜・乳製品)の取りまとめ結果について |
| 6. 「固定資産・車輛確認」「支所の日」の開催結果について | 14. 農協観光幹線商品取りまとめ結果について |
| 7. 共済一斉推進結果について | 15. JAコネク트의導入について |
| 8. 令和3年度生産調整実施計画について | |



- 組合員対話運動
 - ①ブロック別総代・女性組合員研修について
 - ②役員の組合員訪問実施要領について
- Aコープ穂別店廃止の方向性について
- 立入禁止看板の幹線について



- 議案第1号 令和3年度麦乾燥調製施設自主検査員の選任について
議案第2号 未利用口座管理手数料の設定について
議案第3号 厚真支所実質破綻先債権の回収について
議案第4号 理事に対する貸付について
議案第5号 出資の減口と譲渡について

令和3年8月10日(火)に総合営農センターで第8回理事会が開催され、次の事項について報告、協議、承認がされました。



- | | |
|-------------------------|---------------------------------|
| 1. 一般報告と当面する諸行事について | 7. ブロック別総代・女性組合員研修について |
| 2. 8月1日現在、農作物の作況について | 8. 不祥事再発防止策の進捗状況について |
| 3. 組合員の異動について | 9. 要改善JA(不祥事点検基準)の指定解除について |
| 4. 固定資産の取得・処分について | 10. 生産者組織代表と常勤理事との意見交換会について(畜種) |
| 5. みのり監査法人期中監査Ⅰ結果概要について | 11. 秋のいも掘体験について |
| 6. 役員組合員訪問の実施について | 12. 立入禁止看板の幹線について |



- 役員研修の検討案について(道内:1泊2日 10月予定)



- 議案第1号 建設工事規程の一部改正について
議案第2号 出資の減口と譲渡について



谷口 雅泰さん(29歳) 苫小牧市美沢

谷口雅泰さんは平成4年生まれの29歳。苫小牧東高校を経て札幌学院大学法学部を卒業。現在は父隆昌さんの後継者として100頭近いホルスタインの管理に奮闘中。

憧れを追った少年期、将来を見据えた青年期

「農家に生まれ育ちましたが、将来のことは自分で決めて、それに向けて頑張りたい」と両親から後継者になることを一切強いられたことがなかったと話す雅泰さん。テレビドラマのカッコいい刑事に憧れ、少年時代は警察官になることを夢見て大学も法学部へ進学。残念ながら願いがかなわず警察官への道は断念することとなるが、父隆昌さんの後継者となるべく26歳のころに就農の道を選ぶことに。

選んでわかった職業「農業」の魅力

「学生時代に運動をしていたので体力面の心配はしていませんでしたが、就農当初はとにかく肉体的にきつく機械についても詳しくくないので整備や修理なんかは父に任せきりになってしまった」と当時を振り返る雅泰さん。「ただ、自分一人では無理な作業があるので、マイペースで取り組める農業は天職に近い職業で、会社勤めの友人たちを羨ましく思ったりしたことも一度もないです」と就農してわかった魅力も明るく話してくれた。

現在は、日に2度の搾乳とそれに係る牛舎の作業を一手に担っているという雅泰さんは「今年は特に暑いので、朝はいつもよりも30分くらい早めに起きて作業を開始しており、エサの質の低下やカビの発生が気になるので試行錯誤の日々を送っています」と話し、牛舎でも仔牛への語り口が非常に優しく、選んだ職業への愛着が窺えた。

唯一成し遂げたいこと

「明確なビジョンをもって就農したわけではないので、大きな目標はない」と雅泰さんは話す。ただ父の仕事の全てを継承し、父の作り上げた経営基盤を守り守れるようになりたいと思っている。それができて初めて次の目標が見えると思うのでと自分なりのゴールを見据えている。

さんさん あぐり講座

胆振農業改良普及センター東胆振支所

水稻直播用良食味品種 「えみまる」について

最近、TV 等で「えみまる」の紹介や販売を見かけます。JAとまこまい広域においても直播栽培で作付けされており、農業特性や食味が優れていることから、全道的に直播栽培で「ほしまる」から「えみまる」に切り替えが進んでいます。「えみまる」の特性について紹介します。

表1 えみまるの品種特性

長所	短所
低温苗立性が優れる いもち病ほ場抵抗性が強い 玄米品質が優れる 収量がやや多い（ほしまる対比）	割刈が多い （ななつぼし程度）



写真2「えみまる（直播）」の生育（厚真町 R3,8,23）



写真1「えみまる」は「ほしまる」並の成熟期（厚真町 H28）※成苗ポットにおける品種比較

直播栽培において「低温苗立性」が優れることは、収量の安定性に直結します。
また、「ななつぼし」並の食味と「ほしまる」並の「成熟期の早さ」から直播栽培の安定化が期待されます。

普及センターからのお知らせ

胆振農業改良普及センターでは公式ホームページをより利用しやすくするため、掲載する情報や更新のお知らせについて見直しを進めています。

その一環として令和 3 年 7 月より Instagram と Facebook を開設し、ホームページ更新のお知らせを始めました。

ぜひ、お持ちのスマートフォン・タブレット等でご覧ください。



Instagram



フェイスブック



ホームページ

Instagram
Facebook のアイコン

【胆振農業改良普及センター】 伊達市末永町147番地 TEL 0142-23-3195
【胆振農業改良普及センター東胆振支所】 むかわ町文京1丁目6番地 TEL 0145-42-2528

ワンポイント営農情報

もっと活用Web版「アプラス」!



生産履歴に記帳された情報は営農経験を記した、かけがえのない栽培記録

作業記録・生育記録をデータとして蓄積することで、次年度以降の基礎データとして活用!!

提出した生産履歴は農業経営の貴重な記録。
作業日誌として活用頂けます。
経年のデータ蓄積により、農作業の行程や、作物の傾向などの判断に活躍します。



シリーズNO.21 おいしい米づくり

ほ場の生育状況に合わせた施肥の見直しを

収量を安定させるには、ほ場に合わせた施肥設計の見直しが重要です。今年の生育や収量の記憶が鮮明なうちに、記録を残し、来年の肥培管理の参考として下さい。3年程度継続することで、精度の高い施肥改善につながります。

※施肥窒素量改善の目安※

生育の特徴	施肥・管理の改善方向
初期生育が劣ったほ場（幼穂形成期頃に平均一株茎数20本未満）	側条施肥の増肥（窒素量1.0kg/10a以内）または側条施肥割合の増加
出穂直前の生育も小出来となったほ場	全層施肥の増肥（窒素量1.0kg/10a以内）
タンパク値の高いほ場やなびきの見られたほ場	全層施肥の減肥（窒素量1.0kg/10a以内）

生育の出来不出来の要因は、施肥量だけではない場合もありますので、合わせて栽培管理の総合的な検討も大切です。

収穫終了後には土壌診断の実施を

東胆振地域の土壌は、火山の噴出物の影響で多様な土壌条件が入組んだ状態となっています。収量・品質の向上やコスト低減には、ほ場毎に土壌に合わせた施肥設計が重要となります。

収穫後は、計画的に土壌サンプルを採取し、積極的に土壌診断を活用して下さい。合わせて、ほ場毎の診断値の特性や変化を、ほ場台帳として整理しておくことと合わせてより正確な施肥改善につながります。



**ヨーグルトで北海道
ライスサラダ**
材料(2人分)
よつ葉北海道十勝生乳100gとろ
つとなめらかヨーグルト…大さじ4
【A】
ごはん…100g
ツナ缶…1缶
ミニトマト…4個

北海道コンサドーレ札幌選手寮 しまふく寮の レシピ紹介

北海道コンサドーレ札幌と
JAグループ北海道は
食農パートナーです!

Vol. 2

ヨーグルトで北海道♪ ライスサラダ



田中健汰選手

キュウリ…1/2本 (50g)
パプリカ…1/4個
玉ネギ…大さじ1 (10g)
刻みパセリ…小さじ2
塩…小さじ1/4
オリーブオイル…小さじ1
コショウ…少々

作り方
「よつ葉北海道十勝生乳100gとろ
つとなめらかヨーグルト」を使います。
①ごはんは冷まし、ツナ缶の油は切
る。ミニトマトは1/4の大きさに
切る。
②キュウリ、パプリカは1cmの角切
り、玉ネギはみじん切りにする。
③【A】をすべて混ぜ合わせ、ヨー
グルトを加えてさつと和える。

レシピの特徴
食感の良い刻み野菜とツナを合わ
せ、オリーブオイル、塩、コショウ

でシンプルに味付けし、まろやかな
「よつ葉北海道十勝生乳100gとろ
つとなめらかヨーグルト」を加える
ことで、さっぱりとクリーミーなド
レッシングをかけたような味わいの
サラダです。

北海道コンサドーレ札幌の管理栄養士
小松先生のコメント
練習や試合で失われた炭水化物や
カルシウムの補給に！ツナは、た
んぱく質とビタミンB6を含んでいる
ので、リカバリーメニューに使えま
す。練習や試合後、夕食まで時間が
あるときのおやつや、夕食の一品に
加えてはいかがでしょうか。皆さん
もぜひ、お試しください。
3回シリーズでお届けした「特別
企画」は、常にカルシウムが不足し
がちなジュニアスリートにとって、
ピッタリなレシピでした。トッパ
スリートを目指すためにぜひ、ご活
用ください。

北海道コンサドーレ札幌とJAグループ北海道は、
相互連携協定を結び、食農教育・社会貢献活動を展開しています!



●コンサ・土・農園



●よい食JA親善大使



JAグループ北海道は、「コンサ・土・農園」や「よい食JA親善大使」を通じて、
北海道コンサドーレ札幌とともに、食の重要性を幅広く発信しています。

JAグループ北海道

JA 日誌

2021 9 月

16日(木)	厚真神社 例大祭
17日(金)	新採用(高卒)試験、第11回経営会議
18日(土)	
19日(日)	
20日(月)	
21日(火)	
22日(水)	抜穂祭
23日(木)	
24日(金)	第8回企画会議
25日(土)	2021北海道ホルスタインナショナルショウ(中止)
26日(日)	第5回JAとまこまい広域杯少年サッカー大会
27日(月)	
28日(火)	内部監査外部委託(期中I)
29日(水)	
30日(木)	令和3年度経営監査～10月1日、クールビズ終了

2021 10 月

1日(金)	
2日(土)	第18回ジェネティクス北海道黒毛和種枝肉共励会
3日(日)	
4日(月)	
5日(火)	新米贈呈(～7日)、業務改革推進委員会
6日(水)	
7日(木)	信連体制整備モニタリング～8日
8日(金)	
9日(土)	全国育樹祭お手入行事(苫東 和みの森)
10日(日)	
11日(月)	
12日(火)	
13日(水)	
14日(木)	
15日(金)	第2回地域振興検討委員会、第10回理事会、 ホクレン意見交換会

※新型コロナウイルスの影響により中止となる場合がありますのでご了承下さい。

新米キャンペーン

今年度は、農林中央金庫と北海道森林組合連合会とのコラボにより、
道産の木材を使用した「しゃもじ」を応募のあった中から抽選で200名様に
プレゼント致します。昨年から続く新型コロナウイルス感染症の拡大
により、米の消費が大きく減少していることから、農協の総力をあげて消
費拡大を図って参ります。またキャンペーンと並行し、各支所金融窓口及
びAコープには緑の募金箱を設置致します。

道産の木材を使用した「しゃもじ」プレゼント

以下の要領で抽選致します。

- | | |
|---------|-------------------------------------|
| ①応募期間 | 令和3年10月1日(金)～10月31日(日) |
| ②応募はがき | 新米を購入または予約された方に5kgにつき1枚
の応募はがき配布 |
| ③受付窓口 | Aコープ・各支所金融窓口 |
| ④抽選 | 令和3年11月10日(水) |
| ⑤しゃもじ発送 | 抽選後随時
(当選は、商品の発送をもって代えさせていただきます) |

お悔やみ

謹んでご冥福をお祈りいたします。



月日	地区	氏名	享年
7/26	むかわ町	小岸 ナミさん	88
8/2	むかわ町	丹羽 春枝さん	66
8/17	安平町	早川 利夫さん	80
8/20	厚真町	中島 留夫さん	90

ホクレン南北海道 黒毛和種市場 広域農協支所別取引成績(8月)

令和3年7月28日

	性別	成立頭数(頭)	価格平均(円)	平均日齢/体重(kg)	平均kg/単価(円)
白老	去勢	24	755,542	1.184	2,253
	雌	18	674,722	1.078	2,076
苫小牧	去勢	2	722,000	1.180	2,117
	雌	3	606,667	1.031	2,040
早来	去勢	24	700,792	1.173	2,050
	雌	17	680,941	1.161	2,049
厚真	去勢	26	725,077	1.196	2,204
	雌	19	638,579	1.062	2,077
穂別	去勢	33	776,091	1.199	2,291
	雌	14	616,357	1.035	1,925
追分	去勢	3	710,667	1.148	2,251
	雌	2	663,500	1.148	2,113
とまこまい 広域	去勢	112	740,991	1.187	2,206
	雌	73	652,466	1.084	2,040
胆振管内	去勢	195	757,441	1.183	2,278
	雌	121	644,826	1.064	2,061
市場計	去勢	877	725,420	1.141	2,228
	雌	602	621,066	1.025	2,026